

人間関係学部 人間文化学科

講師名	講義テーマ及び内容	テーマ №
教 授	韓国語を学ぼう	№ 201
入佐 信宏 (韓国・中国言語文化コース) IRISA, Nobuhiro	韓国語は日本語と文法が似ていて、日本人には大変学びやすい言語です。講義では韓国語の基本的な文字と発音、簡単なあいさつや自己紹介の方法をわかりやすく説明します。	
講 師	交易の時代と銀の大作進	テーマ № № 202
遠藤 総史 (歴史地理コース) ENDO, Satoshi	「14世紀の危機」を脱した世界経済は、空前の好景気の時代を迎える。「長い16世紀」である。東南アジアと東アジアの海域世界には、世界中から様々な勢力が参入し世界経済の中心として発展していく。	
特任准教授	自分の英語で日本文化を発信する国際人	テーマ № № 203
長 佳文 (英語英米文化コース) OSA, Yoshifumi	自分の英語で日本文化を発信する国際人になるために、今何を勉強し、どんなことを心がけたらよいかについて学びましょう。	
准教授	『百人一首』の世界	テーマ № № 204
鏑 武彦 (日本語日本文学コース) KAZARI, Takehiko	皆さんにもおなじみの『百人一首』には、日本の文化を理解するためにも、現代の人々が学ぶべき要素がたくさん詰まっています。知っているようであまり知らない『百人一首』について、いろいろな視点から講義します。	
教 授	日本人が気づいていない日本語の諸規則 ー外国人に対する日本語教育からわかることー	テーマ № № 205
勝田 順子 (日本語日本文学コース) KATSUDA, Junko	外国人の多くが不得意な「つ」の音の作り方、助詞「は」「が」の使い分け、「歌って」「食べて」「飛んで」のような動詞連用形の作り方の規則など、外国人に教えてみて初めてわかる日本語の諸規則を紹介します。	
教 授	ことばを「観察」する	テーマ № № 206
蒲地 賢一郎 (英語英米文化コース) KAMACHI, Kenichiro	ことばそのものを「観察」してみようという講義です。「あれ?」とか「おや?」とか思うところを探してみます。ことばの中に潜む論理性のようなものを、いっしょに考えてみたいと思います。	
講 師	ハングルを学んでみよう	テーマ № № 207
金 文姫 (韓国・中国言語文化コース) KIM, Moonhee	韓国語の文字であるハングルの成立について説明し、ハングルの母音と子音を学んで、自分の名前を書いてみよう。	
講 師	詞 (詩余) とは何?ー日本での興起と発展	№ 208
靳 春雨 (韓国・中国言語文化コース) JIN, Chunyu	詞はもともと曲譜にのせて歌われた歌詞ですが、次第に音楽性を失い、歌詞だけが残り、中国・宋代の代表文学となりました。詞は日本にも伝わり、多くの知識人に愛読され、日本文学史に大きな足跡を残しました。	

人間関係学部 人間文化学科

講師名	講義テーマ及び内容	テーマ №
教 授		№ 209
宗 建郎 (歴史地理コース) SOH, Tatsuro	地域を知るー地域活性化と観光ー 今、日本各地で地域活性化が課題となっていますが、そもそも地域活性化とはどういうことでしょうか。ゆるキャラ？グルメ？SNS？地域を活性化させるためには、まず地域を知ることが必要なのです。	
准教授		テーマ № № 210
高根 広大 (英語英米文化コース) TAKANE, Kodai	ああ、ロミオ、ロミオ、どうしてあなたはロミオなの？ 英語を学ぶ人、国際的な教養を身につけて、グローバルに活躍したい人なら、誰もが知っておきたい、シェイクスピアの文学。 有名なセリフの、その続きを知っていますか？代表作の一つ『ロミオとジュリエット』を紹介します。	
教 授		テーマ № № 211
茶谷 誠一 (歴史地理コース) CHADANI, Seiichi	小御所会議に明治天皇は出席していたのか？ 1867年12月9日に開かれた小御所会議は、日本が天皇を中心とする新体制へと移行したことを示す重要な場となりました。通説では天皇も出席していたことになっています。本当に明治天皇は出席していたのでしょうか？	
教 授		テーマ № № 212
原口 泉 (歴史地理コース) HARAGUCHI, Izumi	明治維新を主導した薩摩藩の力 日本近代の扉を開き、その基礎を築いたのは、辺境の薩摩藩であった。西郷隆盛と大久保利通、両雄の出身地加治屋町をアメリカ国務長官ブライアンは「英雄の町」と呼んだ。なぜ薩摩藩が明治維新の主導者となったのか、その謎を解く。また、大河ドラマ「べらぼう」に見る島津家にも言及する。	
教 授		テーマ № № 213
マークス・シオボールド (英語英米文化コース) Marcus, Theobald	Haiku in English Students will practice counting syllables in English words. Then we will write haiku in English in class.	
教 授		テーマ № № 214
三浦 卓 (日本語日本文学コース) MIURA, Taku	「語り手」で小説を読むために 小説を読む時、「作者の意図」を考えたり登場人物に「感情移入」したりというのが一般的ですが、「語り手」という考え方をを用いて読んでみると別の世界が見えてきます。近代文学を題材に「語り手」について考えます。	
准教授		テーマ № № 215
溝上 宏美 (歴史地理コース) MIZOGAMI, Hiromi	紅茶の国、イギリスの歴史 アフターヌーン・ティで知られるように、イギリスは紅茶で有名ですが、紅茶の生産国ではありません。では、なぜ、イギリスで紅茶が飲まれるようになったのでしょうか。世界史からその理由を探ってみましょう。	